

愛別消防119だより

「火災のない年末年始を
すごしましょう！」

大雪消防組合愛別消防署
令和2年12月16日 発行

統一防火標語

『 その火事を 防ぐあなたに 金メタル 』

ご家庭でのストーブ火災に注意！

冬の季節はストーブによる火災が増加します。使用者の注意不足による火災が多く発生しています。

下記のような対策をして、火災を予防しましょう。

●ストーブの周りは、常に整理整頓をする

布団、衣類、雑誌などの可燃物が電気ストーブの近くに置いてあると、ふとしたはずみで可燃物

がストーブに接触し出火する恐れがあります。

●ストーブの近くでスプレーなどを使わない

化粧品や塗料、殺虫剤などのスプレー缶や引火性の溶剤を使った接着剤などは、引火や爆発の

危険があるので、ストーブの近くで使用してはいけません。

●寝るときは必ずストーブを切る

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうった際などにストーブに布団が接触し出火する恐れがあ

ります。

●給油をする際にはストーブを切る

給油をする際には、必ずストーブを切ってから行ってください。また、給油の際にこぼれてしまった灯油をそのままにしておくと、引火して火災になる恐れがありますので、すぐに拭き取ってくださ

● カートリッジタンクの口金はきちんとしめる

石油ストーブのカートリッジタンクに灯油を補給した後、口金を完全に締め付けずそのまま石油ストーブにセットしようとしたため、口金が外れ、漏れた灯油がストーブにかかり出火するケースが多く発生しています。

● 布団、カーテン、ふすまなどの燃えやすい物のそばではストーブを使用しない

ストーブは、壁、カーテン、ふすま、障子などから十分な距離をとってください。

● ストーブの近くに洗濯物などを干さない

ストーブの上部や周囲に洗濯物を干さないでください。気づかないうちに、ストーブに落下したり接触して出火する恐れがあります。

● 誤給油に注意

ガソリンや軽油を、灯油と間違えてストーブに給油し、火災になる事例がおきています。

<誤給油を防ぐには・・・>

- 1 油の種類によって容器の色や形状を変える。
- 2 ガソリンは必ず専用の金属容器で保管する。
- 3 給油する前に燃料の色を確認する。(灯油は無色透明です。)
- 4 灯油の保管場所と他の油の保管場所を変える。
- 5 家族にも灯油と他の油の置き場を徹底する。

